

『恨む』 作：ポチ子

死にたいとか言うくせに、

死ねって言ってきた人を、

遺書にお前の名前を書いて死んでやる、

って思うくらいには恨んだり。

自分が死んでもいいとは実は思っていない。

正直に言えばそう。

でも他人の中ではそうでもないから、

結局死にたくなる。

誰かに生きてほしいって言ってもらいたいんだな。

言ってもらうためには、

死にたいって言うしかない。

だんだん周りも慣れてきて、

慰めの言葉も無くなるのは分かっているけどね。

そしたら、

ほんとに死ぬしかないな。

そしたら、

生きててほしかったって言ってもらえる。

はず、なんだけど。